

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地												
国際ビューティファッショ ン・製菓大学校		平成14年11月29日		水野 和哉		〒963-8811 福島県郡山市方八町2丁目4番21号 (電話) 024-941-6550												
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地												
学校法人新潟総合学院		平成7年3月24日		池田 弘		〒951-8063 新潟市中央区古町通二番町541番地 (電話) 025-210-8565												
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士													
文化・教養	文化教養 専門課程	ファッションビジネス科		平成16年文部科学省告示 第17号	-													
学科の目的	本校は、美容関係・ファッション関係・製菓関係の専門課程を設置し、社会に貢献しうる人材を育成することを目的とし、推薦学科である美容学科においては、日々変化する美容業界に柔軟に対応し、最新の業界動向を教育課程に取り入れるとともに企業等との連携により、より実践的な人材の育成を目的とする。																	
認定年月日	平成 27年 3月 31日																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講義	演習	実習	実験	実技											
2	昼間	1700	540	900	260	0	0											
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数												
40人		30人	0人	1人	6人	7人												
学期制度	■前期:4月1日から9月30日まで ■後期:10月1日から3月31日まで			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)各科目別に成績 者査													
長期休み	■学年始:4月1日から4月4日まで ■夏季:7月21日から8月22日まで ■冬季:12月22日から1月9日まで ■学年末:3月2日から3月31日まで			卒業・進級 条件	・1700時間以上の教育課程を修了した者 ・各学期末に行う定期考査の成績が、全ての科目において C評価以上の者													
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人・保護者への電話連絡、家庭訪問等			課外活動	■課外活動の種類 球技大会、運動会、学園祭、ボランティア活動  ■サークル活動: 無													
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) ファッションデザイナー・パタンナー・アドバイザー			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に 関する平成29年5月1日時点の 情報)													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファッション販売検定</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>サービス接遇検定</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>ラッピング検定</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ファッション販売検定	③	9	8	サービス接遇検定	③	9	9	ラッピング検定	③
資格・検定名	種	受験者数	合格者数															
ファッション販売検定	③	9	8															
サービス接遇検定	③	9	9															
ラッピング検定	③	9	9															
就職指導内容		企業研究、ガイダンス説明会参加、企業マッチング、履歴書、		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)														
■卒業生数		9 人		■自由記載														
■就職希望者数		9 人																
■就職者数		9 人																
■就職率		100 %																
■卒業者に占める就職者の割合		100 %																
■その他 ・進学者数: 0人 ・業界外就職: 0名																		
(平成 29 年度卒業者に 関する平成30年5月1日 時点の 情報)																		
中途退学 の現状	■中途退学者 11 名		■中退率 4.7 %		平成29年4月1日時点において、在学者234名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者223名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ・学校生活への不適合・進路変更・就学意欲の低下等													
■中退防止・中退者支援のための取組 保護者との協力(保護者説明会、授業参観、保護者面談)、検定・コンペ・イベント等の充実 等																		
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ●奨学金(・無利子奨学金制度・母子家庭・父子家庭奨学金制度・学費分割納入制度等) ●特待生制度(高校生特待生制度・社会人特待生制度等) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 給付実績:無																	
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																	
当該学科の ホームページ URL	URL : <a href="http://www.b-f.ac.jp">http://www.b-f.ac.jp</a>																	

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ブライダルプランナー・コーディネーターの育成において、より実践的かつ最新の知識・技能を有する者を輩出することが専門課程の責務であることから、当該学科においては、現在実務に従事する非常勤講師の講義(座学)・実習のほか、全ての在學生は、企業へのインターンシップを行い、企業側・学生側双方の意見、改善点を各々フィードバックし、教育課程の改善を行う方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

委員会の目的として「教育課程編成の改善」を主とするため、教務部の指導・助言機関として位置づけ、委員会での協議事項を学校管理者で検討し、さらに本校及びグループ校の意見等を取り入れながら教育課程へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年10月31日現在

名前	所属	任期	種別
鈴木 尚子	福島県デザイン協会 理事	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
安田 修	(株)安田縫製 代表取締役社長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
井堀 学	(株)郡山クロージング代表取締役社長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
高田 寿広	国際ビューティファッション・製菓大学校 副校長(学校責任者)	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
佐藤 雅之	国際ビューティファッション・製菓大学校 教務部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
松浦 佳奈	国際ビューティファッション・製菓大学校 ファッションビジネス科担当	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 6月、9月

(開催日時)

第1回 平成30年 6月16日 16:30 ～ 17:30

第2回 平成30年 9月22日 15:30 ～ 16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

ファッション産業を目指す若者が減少して、販売職が増え県内就職がげん

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界に携わる方々や受け入れてくれる企業等の要請を聞き入れ、必要となる実践的かつ専門的な能力を育成することを目的とする。実習・演習等を通して、外部の方々の指導の基に知識・技術の向上を図ることを基本方針とする。連携する企業等と学校側との打ち合わせや連絡を密にし、実りある授業展開、更には業界が求める知識・技術の優れた人材の輩出に努める。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業研修を経て素材の生産方法や原理、編み機やアパレル関連の最新マシンの理解を体験授業により習得する。福島県産の素材に関して興味や理解を広げていく。評価は企業側担当者による評価をいただき、さらに打ち合わせやアンケートにより実習内容の改善を行っている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
素材学	洋服の素材に関して基礎的な知識を学ぶ	齊栄織物（株）

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

基本は企業現場からの教員採用を前提としているが、学校内部で教員年数を重ねたいくにつれ、ややもすれば過去の知識・経験のまま陳腐化した教育を施す危険性もある。このため、就業規則第57条等による教育・研修体制を、毎年度中に教員の勤続年数に応じた外部研修計画(外部講師による)を策定し受講させ、スキルアップを図ることを方針とする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・専門研修は各企業・各連盟が毎年定期的に行っている

H29.8 TONI&GUY ジャパン(美容教員を対象に外部企業による指導方法や試験内容の変更部分レクチャー研修)

H29.11 衛生実技試験審査説明会(美容教員対象に理美容学校連合会による国家試験審査内容変更点の研修)

H29.11 国家試験技術研修(福島県理容美容学校連合会の福島理美容専門学校 佐藤校長による美容教員対象の国家

②指導力の修得・向上のための研修等

・教員研修は講師を招き法人グループが毎年定期的に行っている

H29.4 新入社員研修(新入社員に、本校で連携企業(専門企業)講師による教員の実務・指導力向上を目的とする研修)

H29.8 NSGアドバンス研修(対象者別((3年未満・中堅者・管理者))に全国専門学校教育研究会による早稲田大学学院教授 向後講師の指導力向上の研修)

H30.2 実践行動学ファシリテーター研修(年間2回、3年未満・中堅者を対象に実践行動学委員会(外部)五十嵐講師による指導研修)

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

H30.8 TONI&GUY ジャパン(美容教員を対象に外部企業による指導方法や試験内容の変更部分レクチャー研修)

H30.11 衛生実技試験審査説明会(美容教員対象に理美容学校連合会による国家試験審査内容変更点の研修)

H30.11 国家試験技術研修(福島県理容美容学校連合会の福島理美容専門学校 佐藤校長による美容教員対象の国家試験指導勉強会)

②指導力の修得・向上のための研修等

H30.4 新入社員研修(新入社員に、本校で連携企業(専門企業)講師による教員の実務・指導力向上を目的とする研修)

H30.8 NSGアドバンス研修(対象者別((3年未満・中堅者・管理者))指導力向上の研修)

H31.2 実践行動学ファシリテーター研修(年間2回、3年未満・中堅者を対象に実践行動学委員会(外部)五十嵐講師による指導研修)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をベースに、任意団体である全国専門学校経営研究会(加盟校:26法人113校)により協議検討を重ねた「自己点検・評価基準」を主に、点検基準表を策定し、学校が委員会等の点検・評価を基に作成し、学校長が再点検の上、学校運営に反映させる方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念、教育目的、教育目標
(2)学校運営	教育の内容・管理運営・改革改善
(3)教育活動	教育の内容
(4)学修成果	教育目標の達成度と教育効果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育の実施体制
(7)学生の受入れ募集	学生支援
(8)財務	管理運営(法人)
(9)法令等の遵守	管理運営
(10)社会貢献・地域貢献	社会的活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校・評価委員会の意見としては学校の理念や校長の挨拶等、外部に発信する必要があり、高校生や保護者のみではなく、社会に対しても行うほうが望ましい。卒業生の入社後の状況把握も定期的に必要。これを受けてHPに学校長挨拶を含む理念を掲載。同窓生のHPを立ち上げ案内を発信している。今後の課題としては、学校の理念は、HPにもっとわかりやすく載せる必要があり、卒業生のHPは案内を強化し活用頻度を上げていく必要がある。

名前	所属	任期	種別
結城 勝夫	無所属(前学校長・35年教育機関従事者)	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	相談役
中川 貴弘	有限会社 ステップワン代表取締役、前校友会会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	卒業生
山本 勝弘	財団法人国際美容協会 山野流着装教室 東北ブロック支部 支部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	業界役職者
高田 寿広	国際ビューティファッション・製菓大学校 副校長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
佐藤 雅之	国際ビューティファッション・製菓大学校 教務部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

11月本校ホームページにより情報公表

URL : <http://www.b-f.ac.jp>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当校の教育内容、内部活動、外部活動、資格・コンペ・表彰、また学校経営に係る事項等の実績については、公益法人として、関連団体・関連業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要・教育理念・教育目標
(2)各学科等の教育	学科別カリキュラム・特色・資格・就職実績
(3)教職員	専任教員・兼任教員紹介・数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事・対外活動・イベント・施設・設備
(6)学生の生活支援	各種奨学資金・学生寮・住居紹介
(7)学生納付金・修学支援	各種奨学資金・学費サポート・特待生制度
(8)学校の財務	収支決算書
(9)学校評価	自己点検評価結果
(10)国際連携の状況	留学生状況・国際提携校・国際交流活動
(11)その他	生涯学習・編入学等

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

本校ホームページにより情報公開

URL : <http://www.b-f.ac.jp>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ファッションビジネス科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			素材学	洋服の素材に関して基礎的な知識を学ぶ	1通	30	-	○	△		○			○	○
○			カラーコーディネート	色彩に関する知識と検定取得を目標に学習する	1通	60	-	○			○				○
○			西洋服装史	洋服の歴史の基礎知識を学ぶ	1通	30	-	○			○		○		
○			接客マナーⅠ	サービス接客検定取得を目指し、接客を学ぶ	1通	30	-	○			○			○	
○			デジタルマーケティングⅠ	ディスプレイを中心にレイアウトテクニックを習得する	1通	90	-		○		○	○			○
○			コーディネートⅠ	色・デザイン・素材の基本的な知識を習得し、センスを磨く	1通	90	-	○			○		○		
○			ソーイングⅠ	洋服のアイテムを制作し基本的な知識と技術を習得する	1通	90	-		○		○		○		
○			メイク	メイクの基礎知識と技術を習得する	1通	60	-		○		○			○	
○			ファッションビジネス論Ⅰ	ファッションビジネス検定取得授業	1通	45	-	○			○		○		
○			アパレル企画Ⅰ	マーケティングからショップ構築のノウハウを学ぶ	1通	120	-		○		○	○	○	○	
○			ファッション造形学Ⅰ	ファッションパターンの基礎を習得する	1通	30	-	○			○		○		
○			実践行動学Ⅰ	モチベーションについて学び「行動力」「向上力」を学習する	1通	30	-	○			○		○		
○			修了制作	1年間の学習の集大成であり、制作物を発表する	1後	135	-			○	○		○		
			1年次小計			840									
○			ファッションビジネス論Ⅱ	ファッションビジネス検定取得授業(Ⅱ上級)	2通	90	-	○			○		○		
○			デジタルマーケティングⅡ	ディスプレイを中心にレイアウトテクニックを習得する	2通	90	-		○		○	○			○
○			接客マナーⅡ	サービス接客検定取得を目指し、接客を学ぶ(上級)	2通	30	-	○			○			○	
○			アパレル企画Ⅱ	マーケティングからショップ構築のノウハウを企業実習を踏まえ学ぶ	2通	120	-		○		○	○	○	○	
○			ソーイングⅡ	洋服のアイテムを制作し基本的な知識と技術を習得する	2通	90	-		○		○		○		
○			ファッション造形学Ⅱ	ファッションパターンの応用を習得する	2通	60	-		○		○		○		
○			スタイリスト実習	雑誌のスタイリングを想定し複数ブランドのコーディネート学ぶ	2通	90	-		○		○			○	
○			ファッションアドバイザ実習	サービス、販売のノウハウを学んで運営管理のシステムも学ぶ	2通	90	-		○		○		○		
○			卒業制作	2年間の学習の集大成であり、制作物を発表する	2後	125	-			○	○		○		
○			海外文化研究	海外の文化に触れ、見識を広げる	2後		-		○			○	○		
○			実践行動学Ⅱ(就職含め)	就職に向けた「志望動機」「自己PR」含む「行動力」「向上力」を学習する	2通	30	-	○			○		○		
○			情報リテラシーⅡ	デザインソフトを習得し、情報とマーケットを分析プレゼンするノウハウを学ぶ	2通	45	-	○			○		○		
			2年次小計			860									
合計			25科目			1,700単位時間( - 単位)									

  

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	19週